

デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは・・・

デジタル技術を活用して、仕事や組織、人々の生活をより良い方向へ変化させることです。

単にデジタル化を進めることが目的ではなく、デジタルを活用し、新たなサービスや価値を創造する変革が求められます。

本計画では、デジタルを活用して、市民サービスの向上を図るとともに、職員の業務をより付加価値の高いものに変化させていくことを目的としています。

基本方針

1. DXで本市が取り組む3つの柱

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

デジタル技術を活用し、市民一人ひとりに寄り添った行政サービスを提供します

(2) 行政事務のデジタル改革

デジタル技術を活用し、業務・サービス、仕事の仕方を変革します

(3) デジタル化を支える基盤の確立

情報セキュリティ対策を徹底するとともに、デジタル技術や知識を利活用できる情報化人材の育成に取り組みます

2. 計画期間

令和5（2023）年から令和8（2026）年までの4年間とします。

なお、社会情勢の変化やデジタル技術の進展、国の動向等を踏まえ、計画期間中も必要に応じて内容の見直しを行います。

3. 推進体制

総合的かつ着実に推進していくために、庁内横断的な推進体制として「情報化推進委員会」（情報化統括責任者（CIO）及び部局長など）のもと、「ICT推進委員会」において、全庁的な視点でDX推進施策の整合・調整を行い、庁内一丸となって本計画を推進していきます。

4. 計画の位置付け

本計画は、総務省「自治体DX推進計画」や、海津市第2次総合計画を踏まえた本市の行政DXに係る施策の計画として位置付けます。

1. 市民目線に立った行政サービスの提供

- (1) 行政手続のオンライン化
 - ・ 国が定める27手続についてマイナポータルを經由したオンライン化
 - ・ 市民の利便性が高まる申請や申し込みのオンライン化
 - ・ 手数料等のオンライン決済の拡大
- (2) デジタルサービスを活用した利便性の向上
 - ・ 書かない窓口・キャッシュレス決済の対応範囲の拡大
 - ・ コンビニ交付・らくらく窓口の利用推進
 - ・ AIチャットボットの内容充実、対応範囲の拡大
- (3) マイナンバーカードの普及促進
 - ・ カードの必要性・利便性、セキュリティ対策の有効性に関する広報活動
 - ・ 自治体マイナポイントの活用
 - ・ マイナンバーカードの市民カード化

2. 行政事務のデジタル改革

- (1) 情報システム（基幹系システム）の標準化・共通化
 - ・ 情報システムの標準化、ガバメントクラウドへの移行
 - ・ 業務の可視化・業務フローの見直し
- (2) AI・RPA等の利活用
 - ・ 情報システム標準化に係るRPAの利活用
 - ・ RPAの利活用の推進
 - ・ AIツールの利活用の推進
- (3) 電子決裁システムの導入とペーパーレス化の推進
 - ・ 電子決裁システムの段階的な導入、拡大
 - ・ 会議・打ち合わせのペーパーレス化
 - ・ タブレットを使用した議会のデジタル化
 - ・ テレワークの推進

3. デジタル化を支える基盤の確立

- (1) 情報セキュリティ対策の徹底
 - ・ 情報セキュリティポリシー遵守の徹底・改定
 - ・ セキュリティセルフチェック・内部監査の実施
 - ・ 情報セキュリティ研修の実施
- (2) 情報化人材育成に向けた職員教育
 - ・ デジタルに関する知識や技術の研修を実施
 - ・ DX推進に向けた研修・改革意識の醸成
 - ・ データの利活用に関する研修の実施
- (3) デジタル格差の解消
 - ・ 「スマホ教室」の開催
 - ・ スマートフォンを利用した行政手続のサポート（講習会の開催など）
 - ・ 「デジタル推進委員」の活動支援

用語説明（主要なもの）

- 書かない窓口…………… 申請手続の際に、紙の申請書に必要事項を記入することなく手続ができるサービス
- コンビニ交付…………… コンビニエンスストアのマルチコピー機で、市町村が発行する証明書等を受け取ることができるサービス
- らくらく窓口…………… 市役所等の窓口付近に設置した端末から、利用者がコンビニ交付と同じ画面を操作して、証明書等を受け取ることができるサービス
- キャッシュレス決済…………… クレジットカードや電子マネーなど、現金を使わずに支払いを済ませる決済方法
- AIチャットボット…………… 機械学習を使用し、会話（チャット）内のキーワードから自動的に質問に対する回答を類推し、リアルタイムで短文の会話により回答を行うロボットプログラム
- ガバメントクラウド…………… 政府共通のネットワーク上で行政情報システムが利用できる環境
- RPA…………… 従来、人が行っていた事務作業等を自動で実行させることができるツール
- 電子決裁…………… 紙に押印することで決裁していた作業を電子化すること
時間・場所を選ばず、迅速に決裁を受けることが可能となる
- ペーパーレス…………… 業務効率の改善と印刷コストの削減のため、紙の情報を電子データとして保存・管理すること